

組合だより

213号

2017年

8月9日

発行所 岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1

電話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/>

メールアドレス ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

目次:	1: 委員長あいさつ	2: 新三役紹介	3~4: 新執行委員紹介
	5: 全大教定期大会報告	6: 旅日記	



委員長あいさつ

組合を情報交換・意見交流・提言の場として積極的に活用してください！

執行委員長 稲垣 賢二

この度、本年度の連合体執行委員長に選出されました大学院環境生命科学研究科の稲垣賢二です。所属単組は農学部です。どうぞよろしくお願いいたします。1986年4月岡山大学農学部助手として採用されて今年で31年目になります。専門は、農芸化学で応用生物化学、応用微生物学領域で教育研究を行ってきました。研究では種々の微生物由来の有用酵素、中でもビタミン由来の補酵素フラビンアデニンジヌクレオチド(FAD)やピリドキサルリン酸(PLP)を持つ有用酵素の精密な立体構造と機能を明らかにするとともに、そうした知見を基に基質特異性改変酵素の作成や、臨床診断、医療分野に応用することを中心にして行ってきました。

連合体との関わりは、岡山大赴任直後に農学部単組の書記長として執行委員を経験した後、1994年には原野 翹委員長(法学部)のもとで、2000年には小畑隆資委員長(法学部)のもとで、連合体の書記長を勤めました。今回の執行委員長就任はそれ以来のことで、とても久しぶりの登板となりました。当時は副委員長が1名のみと、今のように大勢ではなかったもので、まさに3人プラス書記で三役会議を、一般教育棟E棟裏にあった木造の組合事務所で行ってたことが懐かしく思い出されます。しかし当時を振り返りますと、大学教育はどうあるべきか、学部教育、学生指導、大学院教育はどうするかなど議論を行う余裕があったように思います。最近はどうでしょう。個々の講義準備や学生指導に日々へとへとになっているのではないのでしょうか？



さて今年の岡山大学職員組合の取り組むべき課題としては、財政困難状況下での雇用確保、60分4学期制や年俸制の検証、改善に向けた討論などがあります。性急な大学改革のもとで、岡山大学の教職員は超多忙な日々を送っていると思います。なかなか教員同士や教職員で集まって意見交換する時間が取れませんが、今大切なことはやはり組合員一人一人が大学について、教育・研究について、自分の考えていることを声にすることだと思います。どういう岡山大学にしたいのか、どんな学生を育て、どんな研究をしたいのか、そうした声を出し合って、議論を進めることが大切ではないでしょうか？岡山大学職員組合は、全国の大学の情報を提供することにより、そうした皆さんの意見交流の場になるように、そして大学内外の様々な情報がオープンになるように努め、また大学改革についての提言の場として役に立てるよう努力していきたいと考えています。

どうか皆さん、単組で、職場で、機会あるごとに仲間と話し合いをしてみてください。そして皆様の様々なご意見を、電話やメールで組合にお寄せください。お待ちしております。

新三役紹介

木村 功 副委員長（教育学部）

2017年度の連合体の副委員長を務めます教育学研究科の木村功（たくみ）です。今年度は会計を担当させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。



昨年度は、教育学部の執行委員長を務めさせていただきましたが、所用やら家庭の事情やらで、もっぱら単組の方を中心に活動するに留まり、連合体の方へは殆ど関与出来ませんでした。その意味で、今年は少しでも罪滅ぼしが出来ればと思っております。

現在国自体が大借金を抱え、大学も運営費交付金の減少が続いて、大変厳しい経営環境下にあります。新執行部によれば、2021年度までに岡大

は11億円の赤字が予想され、それに連動して採用や昇任人事が、1年間凍結されることになっています。1年間様子を見て、その後の対応を考えるとのことですが、来年度は少子化による2018年問題の年を迎え、学生数の減少がどれくらいになるのか、予想もできない状況です。

新執行部の舵取りは、荒波の中で航行するようなもので、乗り合わせた我々は「泥船」でないことを天に祈るばかりではなく、「沈没」を避けるためにも組合活動を通じて新執行部を（迎合ではなく）支える姿勢で取り組む必要があるように思います。

まずは学生の学業・生活にも、教職員の職務遂行にも悪影響が大きく、学生募集にもマイナスである60分4学期制の改善に向けて取り組むことが、最優先課題と考えています。

小河 達之 副委員長（医学部）（歯学部共同利用施設）

本年度副委員長に戻りました小河達之です。以前2007年度から2010年度まで副委員長をさせていただき、その後は執行委員をさせていただいておりました。



以前と違い、仕事と家事（子育て）をしながら組合活動ということで、なかなか組合活動に参加することが出来ず、皆様には大変ご迷惑をおかけする一面もあるかと存じますが、よろしくお願

いたします。

今年度、学内では「事業場別・部局別職員代表委員会」の議長および鹿田地区の研究系過半数代表者も務めさせていただきます。また、学外では上位団体である全大教の病院協議会幹事としての仕事もさせていただいております。

OUMCなど皆さんの関心の高い問題もありますので、各種チャンネルを活かしつつ組合の活動に参加したいと存じますので、よろしくお願いいたします。



五十嵐 潤美 副委員長（全学教育・学生支援機構）

今年副委員長を務めます基幹教育センターの五十嵐潤美です。組合で役員をさせていただくのは初めてですが、皆様のお役にたてるようしっかり勉強していきます。



今、岡山大学は厳しい経営を強いられており、

大学執行部もそれに対応すべく新たな戦略を立てています。大学の構成員が皆協力して難局に備えなければならないのはもちろんですが、同時に、改革の名のもとに、働く者の権利や生活が蔑ろにされることがないようにチェックする目も必要です。私はこれが職員組合の大きな役割だと考えています。この役目を果たせるよう活動していきますので、ご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



役員一覧

執行委員長	稲垣 賢二	農学部	執行委員	大橋 功	教育学部
副委員長	高橋 裕一郎	理学部	〃	諸田 大輔	〃
〃	中 富 公一	法文経	〃	山川 純次	理学部
〃	藤原 貴生	理学部	〃	川崎 慎司	〃
〃	五十嵐 潤美	全学教育	〃	鶴田 剛司	農学部
〃	木村 功	教育学部	〃	高橋 英理子	附属学園
〃	小河 達之	医学部	〃	尾崎 光恵	〃
書記長	笹倉 万里子	工学部	〃	大杉 博幸	医学部
執行委員	吉岡 伸一	法文経	監査委員	荻野 勝	全学教育
〃	鈴木 真理子	〃	〃	田村 隆	農学部
〃	大西 孝	工学部	選挙管理委員	米山 毅一郎	法文経
〃	上森 武	〃	〃	鈴木 茂之	理学部

執行委員紹介

法文経単組 鈴木真理子（経済学部）

今年度、法文経単組の書記長を務めさせていただくことになりました。経済学部の鈴木真理子と申します。岡山大学の勤務は8年弱でございます。最初の3年は非常勤事務職員として後の5年は特別契約職員（助教）として働いております。このため、色々なお立場に寄り添ってお手伝いできることがあるかもしれないと思ひまして、お引き受け致しました。

生まれは茨城県です。朝ドラ「ひよっこ」の方言を聴くと懐かしくてたまわなく、このところ、家ではよ〜ぐ茨城弁が出るようになりました。関西弁の夫や岡山弁の子ども達に「なまってんね〜」と言われますが、気にしません。毎日、楽しく暮らしております。

どうぞ1年間よろしくお願い申し上げます。

教育学部単組 大橋 功



教育学部単組の執行委員長を務めることになりました大橋 功（いさお）です。

名前の漢字表記が前委員長の木村先生と同じですが、読みは違います。岡山大学に赴任して今年で7年になります。この間、多方面において大きな変革が行われてきました。その中には、決して学生にも働く我々にとっても好ましくない「改悪」が少なからずあります。私は、「今のまま」

が良いとは思いません。必要な改革はしていくべきでしょう。意識改革も必要かも知れません。しかし、私はそんな時、近江商人の「三方良し」に習うべきと考えます。「売り手良し、買い手良し、世間良し」これを「大学で働く教職員にとって良い改革、学生にとって良い改革、そして社会にとって良い改革」と読み直したいです。どうぞよろしくお願ひいたします。



教育学部単組 諸田大輔

教育学部単組の書記長を務めさせていただきます。諸田大輔です。岡山大学に着任して10年目、二度目の執行委員で拝命しております。昨年度の慌ただしさと、その中で考えさせられた事をふまえて、少しでも良い方向へ顔を向けられるよう活動をしたいと思っています。状況は依然として厳しいかもしれませんが、組合活動は、風通しの良い感覚を大切にできる場だと思います。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

理学部単組 山川純次

鉱物学と地球統計学を専門とする地球科学者です。以前に連合体執行委員長を務めさせていただきましたが、本年度は理学部で執行委員長を務めさせていただくことになりました。職員組合が活動することで大学における様々な情報が集ま

り、私もそれらに触れることが出来ています。豊かな情報はより良い職場環境の実現に関するヒントやアイデアの源になります。大学で働くすべての人々が幸せを実感できる職場になるよう、微力ながら私も尽力させていただければと思いますが新米パパでもありまして、中々に執行委員会に参加することが叶いそうに無く、ご迷惑をお掛けするかと思いますが、よろしく願いいたします。



理学部単組 川崎慎司

今年度、理学部単組の執行委員を拝命しました、川崎です。岡山大学に着任してから12年、教育研究環境の変動を経験してきました。今年度も8月を過ぎ、今までであれば研究活動に専念出来るホッとする時期であります。猛暑の中講義を続けている状況に、やるせない気持ちです。クォーター制導入時に教務委員だったため、事務のみなさんとカリキュラム作成に大変苦労しました。ほころびに対するその場しのぎの対応は現在も続いています。クォーター改め4学期制導入は、拙速に過ぎたのは間違いないと思います。組合は、こういう重要なシステムを決定している人達に正々堂々と物申すことが出来る組織だと思います。今後、しなやかにあしらわれる覚悟でいちいちツッコミを入れていきたいと思っています。大阪の下町で生まれ育った性分でおれませぬ。

農学部単組 鶴田剛司

今年度、連合体の執行委員と農学部書記を務めさせて頂くこととなりました鶴田と申します。農学部でおもに食品の機能性に関する研究をしております。組合活動については、知らないことや理解できていないことばかりですので、これを機に大学が抱える問題点について勉強させて頂きたいと思っています。様々な改革がすでに断行されておりますが、組合活動を通して改革から生じている不利益や解決策について知ることができるのではないかと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

附属学園単組 高橋英理子

今年度、附属学園単組の執行委員長を務めさせていただきます、附属小学校の高橋英理子です。

今年度役目をいただいてから、様々な取り組みが組合の中でおこなわれていることを知り、パイプ役として1年間頑張らせていただきたいと感じているところです。附属学園としましては、今年度も早速、運動会へ向けてポロシャツ（またはマフラータオル）配布や、附幼・小・中各学校園ごとにレクリエーションを企画し親睦を深めています。快適な職場作りのために現場の声にしっかり耳を傾け、快適な職場づくりに少しでもお役に立つことができれば、と思います。どうぞよろしく願いいたします。



附属学園単組 尾崎光恵

今年度、附属学園単組の執行委員長を務めさせていただきますことになりました、附属中学校の尾崎光恵と申します。今年度4月より育休復帰しました。組合の仕事は、初めてのことばかりで十分なことができるか分かりませんが、職場の声に耳を傾け、少しでもお力添えができればと思います。どうぞ、一年間よろしくお祈りいたします。

無料法律相談 『ユニオン』をご利用ください

セクハラ、アカハラなどの労働環境問題、あるいは個人的な問題でも結構です。プライバシーを厳守するために、組合執行部とは別組織である人権部が相談を受け付けています。法的な相談をしたい組合員のために顧問弁護士を置き、希望者には、最初の弁護士相談を無料で受けられる「ユニオン」を設けています。法律相談は、随時、弁護士事務所で行います。相談を希望される方は、人権部までお申し込みください。

連絡先：竹島あゆみ 文学部教授 内線 7394

あなたも組合の仲間になりませんか？

法人職員の給与・労働条件は、労使交渉で決まります！

一人でも多くの皆様が加入していただくことで、労使交渉における組合の発言力は大きくなり、よりよい労働条件を実現していくことができます。



お申し込みは、各単組役員、もしくは組合事務所まで。

メールからも、お申し込みできます。岡山大学職員組合 ODUnion@mb4.seikyuu.ne.jp

全大教第 50 回定期大会報告



2017年7月8・9日の2日間、東京・品川区大崎の南部労政会館において全大教第50回定期大会が開催されました。会全体を通して代議員は全部で70名、その他全大教役員等で計97名が参加しました。全部で13の議案の審議・採決および次期執行部役員選挙を行いました。ここでは主な内容をご紹介します。

2017年全大教活動方針

2017年度のもっとも大きな課題は**非常勤職員の5年雇い止め問題**でしょう。岡山大学ではすでに事務系・技術系職員について5年を超えての雇用を認める方針が出されていますが、多くの大学ではまだ方針が明らかにされていません。全大教では各大学の情報交流を行い、原則無期転換をすべての大学法人で実現することを目指しています。

「大学のガバナンス改革」問題も全国的には大きな課題となっています。

岡山大学では現在のところそれほど顕著にはなっていませんが、いくつかの大学では学長の専横・横暴を許し、思いつきの大学改革・組織改革が行われ、そのことが大学のあり方自体を変えるような事態になってきつつあります。全大教ではそれに対抗すべく各大学の組合の活性化に取り組むとしています。

第3期中期目標下での**組織再編**についても全大教では警戒しています。最近新たに設置された組織・教育コースには学術知にもとづくものではないものが乱立しているとして注意を呼びかけています。そのような学術的裏付けのない学部配属された教員が自分の学術的なアイデンティティの危機を感じているという話もあります。本来の自分の研究に専念できず、結果的に研究成果の先細りが懸念されます。

岡山大学ではまだあまり活発ではありませんが、全国的には**軍事研究**の議論が活発化しています。全大教では各大学での軍事研究に関するガイ

ドライン作成を加速する取り組みを各大学の組合で行うよう呼びかけています。

2011年に起きた東日本大震災の復興のためという名目で行われた各大学での**臨時賃下げ**に対して全大教に加盟する11の大学・高専・共同利用機関で裁判を行いました。現在のところそのうち6つが終結しました。残念ながらこれまでのところすべての裁判で原告の訴えを認めないという判決がでています。全大教ではまだ終結していない裁判を支援するとともに、この裁判の総括を行うとしています。

全大教の財政事情

全大教は近年赤字決算が続いています。その最も大きな原因は各大学の組合から全大教へ支払う組合費の減少です。各大学の組合の財政状況が芳しくないため、全大教への組合費を一部免除してもらおう組合が多くなっているからです。かく言う岡山大学の組合も一部免除してもらっています。

全大教ではその対策として、すでに当面の間毎年行っていた教研集会を2年に1回にすることにしています。それ以外にも専従役員の人員削減、全大教事務所の移転、全大教の運動の重点を絞り込むことなどを検討中とのことですが、まだ執行部内での意見がまとまっていないとのことです。

新執行部役員選挙

全大教の執行部役員の任期は2年で、今年は役員選挙の年にあたります。投票の結果岡山大学の中富公一氏が全大教中央執行委員長に再選されました。岡山大学職員組合としては中富全大教委員長を全面的にバックアップしていきたいと考えています。

全大教の存在意義は加盟単組間の情報交換をスムーズに行うこと、文科省会見などにより正しい情報をいち早く掴み加盟単組に知らせること、適宜個別問題の専門家の意見を聴取して各単組に知らせること、必要に応じて国会議員への要請行動を行うことなど多岐にわたっており、できるならば活動を縮小することなく存続して欲しいと個人的には思います。そのためには各単組での新規組合員獲得による財政改善が一番望ましいところです。

全大教定期大会の議案書および決定通知はhttp://zendaikyo.or.jp/index.php?key=jozwomaxt-4827#_4827 (組合員限定) で見るができます。パスワードが必要ですのでご覧になりたい方は組合事務室 ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp までおしらせください。



ローカル線で行く！フーテン旅行記 第45回 四国と新幹線の関係！（後編） 予土線

工学部単組 大西孝

日本最後の清流といわれる四万十川。四万十川に沿ってのんびりと走るローカル線が予土（よど）線です。愛媛県（伊予）の宇和島と高知県（土佐）の窪川（くぼかわ）を結ぶ予土線は、一日に列車が6往復しか運転されない区間もあり、JR四国の中で最も利用客の少ない路線です。ところがこのローカル線に、ユニークな「新幹線」が走っています。

宇和島から予土線の1両だけのレールバスに乗りこむと、一つ進んだ北宇和島駅で、松山・高松方面へ向かう予讃線と分かれ、いよいよローカル線の細道が続きます。宇和島付近の一部区間は戦前に軽便鉄道（レールの間隔が狭い簡易な規格の鉄道）として建設されたため急カーブが多く、スピードが出ません。途中の松丸（まつまる）駅には、駅に温泉が併設されており、無料の足湯を楽しむながら予土線を眺めることもできます。

宇和島から1時間余りで予土線の半分の区間を走り切り、江川崎駅に到着します。この江川崎地区は、2013年8月に日本での観測史上最高の気温41.0℃を記録したことで話題になりました。江川崎駅を出るとようやく四万十川が線路沿いに現れ、川が増水すると流れに沈んでしまう沈下橋など、独特の川の景色が楽しめます。この区間は

昭和49年に開通した比較的新しい区間で、トンネルが多く列車のスピードも上がりますが、何回も川を鉄橋で跨ぐので退屈する暇はありません。また、途中には珍名駅で有名な「半家」（はげ）駅や、二つの元号が並んだ「土佐大正」駅や「土佐昭和」もあります。

予土線は乗客の少ないローカル線ですが、ユニークな車両を運行することで活性化に努めています。まず、観光シーズンになるとトロッコ列車が運行され風を浴びながら川の景色を楽しむことができます。さらに、玩具メーカーとタイアップして「海洋堂ホビートレイン」が運行されています。この列車の車内には多くのミニチュア玩具が置かれおり、2016年7月からは河童をテーマにした「かっぱようよ号」へリニューアルされました。最後の極め付けが、最初にご紹介した「新幹線」こと「鉄道ホビートレイン」です。写真のとおり、レールバスの片方の先頭部に、初代新幹線0系の先頭部を模した団子鼻の構造物を取り付けたものです。これは予土線全線開通40周年を記念して2014年3月に登場したもので、JR四国多度津工場の力作です。車内には歴代の新幹線車両のミニチュア模型が並び、新幹線0系で使われていた座席が車内の一角に設置されるなど、見ても乗っても楽しい車両です。この車両が登場して以降、全国から見物客が訪れ、予土線の乗客が1割も増えたという報道もあります。時速300キロでは走れませんが、この「新幹線」もまた、地域の足を支える大切な乗り物の一つです。



予土線のほぼ中央、江川崎駅に到着。ユニークな列車がすれ違う際は、多くの乗客がカメラを構えます。手前に「海洋堂ホビートレイン」、奥には「鉄道ホビートレイン」が停車中です。



予土線は何度も鉄橋で四万十川を渡ります。観光シーズンには川の景色を満喫できるトロッコ列車も運航されます。



左は「鉄道ホビートレイン」に改造される前のレールバス。先頭部に右の団子鼻の構造物をくっつけて、「新幹線」の出来上がり！



インパクト十分な「鉄道ホビートレイン」。「新幹線」が1両だけ（しかもワンマン運転！）でぼつんと駅に佇む様子はユーモラスです。